

愛され、選ばれる港へ

開港110周年

110th ANNIVERSARY

しみずぽーとにゅーす Shimizu Port News



第41号

平成21年2月23日発行

Shimizu Port Authority

清水港管理局

遊びに来てね♡



開港110周年を迎えた清水港を彩る客船・帆船 寄港予定

クリスタル・セレニティ



ハンセアティック



ブレーメン



日本丸・海王丸



ふじ丸



船名	寄港日	入港時間	出港時間
クリスタル セレニティ	4月15日	9時00分	17時00分
ハンセアティック	6月22日	10時00分	20時00分
ブレーメン	9月30日	8時00分	18時00分
ふじ丸	10月2日	11時00分	18時30分
帆船「日本丸」	10月15日 ～10月19日	未定	未定
帆船「海王丸」	10月15日 ～10月19日	未定	未定

同時寄港！

清水港は物流拠点としてだけでなく、人の交流をつくり出す
素敵な場所でもあるんだ

入港日時は予定です。清水港管理局 HP でご確認ください。

白く美しい船体から港の華と形容される「クルーズ客船」が4隻、さらに、日本が誇る最大級の帆船「太平洋の白鳥」日本丸、「海の貴婦人」海王丸の2隻が清水港に同時寄港し、**110周年**を迎えた清水港を彩ります。

清水港が寄港地に選ばれる理由は、「富士山」の美しい姿と、海と船が好きな県民・市民が、乗客とともに楽しむことができる「おもてなしの心溢れる盛大な歓迎事業」が評価されているからです。

これからも清水港が、世界中の客船やその乗客から、「愛され、選ばれる港」であるように、クルーズ客船や帆船が寄港する際には、清水港を訪れてくれた乗客はもちろん、県民・市民の皆様にも楽しんでいただけるような歓迎事業を官民一体となって行う予定です。富士山と港と客船の織り成す美しい風景を見に、そして、乗客との交流を楽しみに、ぜひ清水港に遊びにきてください。



清水港管理局

清水港

検索



統計

清水港の輸出貨物・輸入貨物 TOP 5 & 品種別構成

出典：平成 20 年 清水港統計概況（速報値）

平成 20 年の清水港の輸出量は、約 440 万トンで、取扱量が多い貨物は、製造業が盛んな静岡県の特徴を表した結果となり、自動車部品、二輪自動車、石油製品、産業機械、電気機械が上記 5 品目となりました。

輸入量は、約 640 万トンで、液化天然ガス、木材チップ、金属鉱、紙・パルプ、豆類が上位 5 位を占めました。

輸出入あわせて 1,000 万トンもあつかつてるよ！

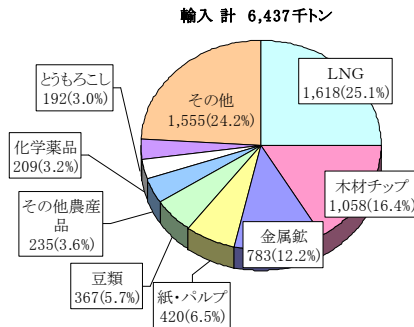
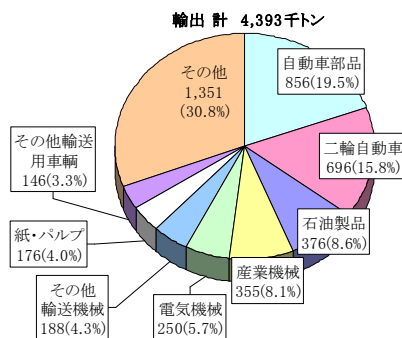
《輸出：上位5品目》

順位	品目名	貨物量 トン	構成比
1	(2) 自動車部品	856,440	19.5%
2	(1) 二輪自動車	695,720	15.8%
3	(10) 石油製品	375,664	8.6%
4	(3) 産業機械	354,760	8.1%
5	(4) 電気機械	249,600	5.7%

《輸入：上位5品目》

順位	品目名	貨物量 トン	構成比
1	(1) LNG(液化天然ガス)	1,617,887	25.1%
2	(2) 木材チップ	1,057,765	16.4%
3	(3) 金属鉱	783,167	12.2%
4	(4) 紙・パルプ	419,943	6.5%
5	(6) 豆類	366,962	5.7%

(注) 順位におけるカッコ内は、前年順位。



オペレーション2009大規模図上訓練を実施

大規模災害に備える！



★情報収集・整理★



★現地情報収集・無線報告★

去る 1 月 16 日（金）、静岡県は大規模地震の発生を想定した「オペレーション 2009 大規模図上訓練」を実施し、清水港管理局では清水港での発災を想定した図上訓練を行いました。

訓練は、発災直後を想定した第 1 部と 1 日経過後を想定した第 2 部の 2 部構成で行い、第 1 部では、無線を使用した岸壁等の港湾施設の被害状況の情報収集を、第 2 部では、収集した情報に基づいて、施設の応急復旧や緊急物資の受け入れ準備等の検討を行いました。

今回の訓練は、決められたシナリオがなく、与えられる情報に基づいて訓練参加者が判断・行動するものとしたため、より実践的なものとなっています。

清水港管理局ではこれからもこのような訓練を重ね、予想される東海地震等の災害への対策（緊急物資の受入体制整備や港湾機能の早期復旧など）を進めていきます。



☆みなさまからのご意見やお問い合わせはこちらまで☆
 〒424-0922 静岡市清水区日の出町 9-25 清水港管理局 企画振興課
 TEL054-353-2203 FAX054-354-0380 e-mail : port@mail.wbs.ne.jp



New Public Engineering for SHIZUOKA
 いっしょに、未来の地域づくり。
 静岡県建設部

